

【運転・点検状況（区分）】

平成 18 年 1 月 31 日

4号機原子炉再循環ポンプ（A）軸封部の監視強化について

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所4号機は、定格熱出力一定運転中ですが、1月17日より、原子炉再循環ポンプ（A）の第2段軸封部（メカニカルシール）^{*1}の圧力にわずかな上昇傾向がみられ、その後も圧力の上昇傾向は緩やかに継続していることから、1月30日より関連パラメータの確認頻度^{*2}を増やし、監視を強化することといたしました。

なお、軸封部は2段構成となっており、本事象では第1段軸封部に何らかの不具合が生じているものと推定しておりますが、当該ポンプ自体のシール機能は維持されていることから、直ちに当該ポンプの運転に影響を与える状態ではありません。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以上

* 1：軸封部（メカニカルシール）

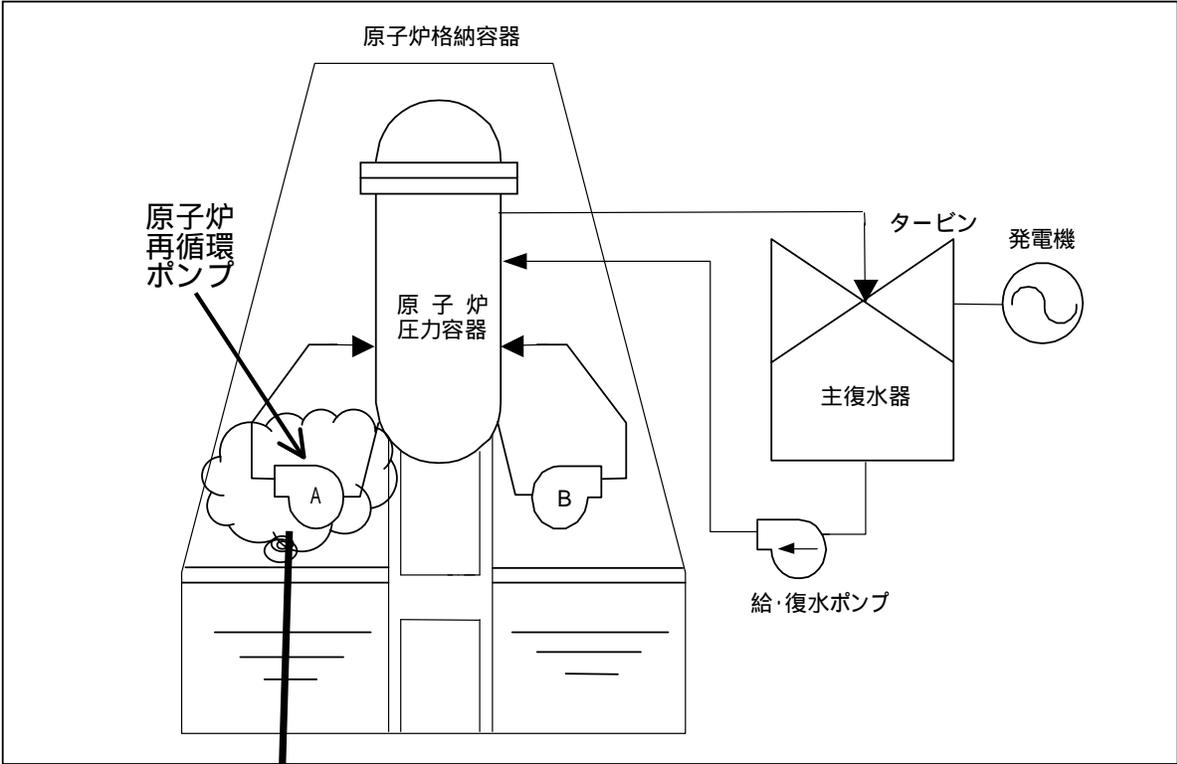
ポンプ内部の水（冷却材）が軸を通してポンプ外部に出ないようにするために設けられている部分。

* 2：関連パラメータの確認頻度

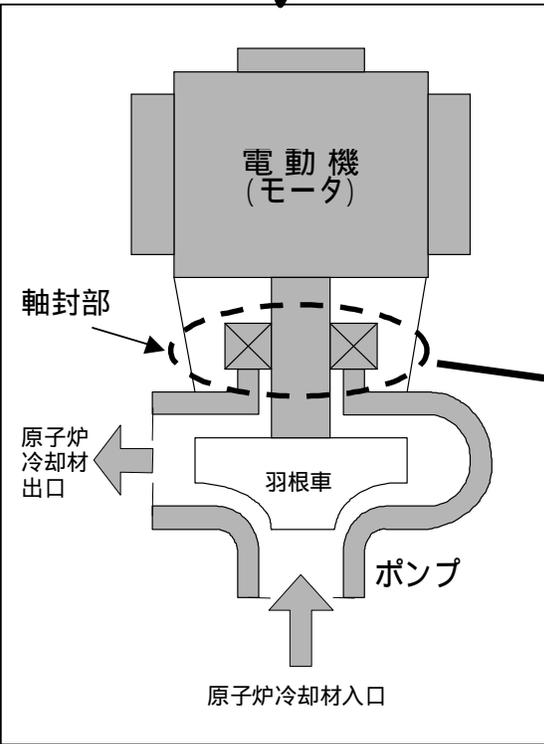
原子炉再循環ポンプ軸封部の圧力および温度の確認頻度を1日1回から1時間に1回に増やす。

本件は「不適合事象の公表基準」に従い、区分の事象として、発生した不適合事象を翌営業日に取りまとめて公表しているものです。

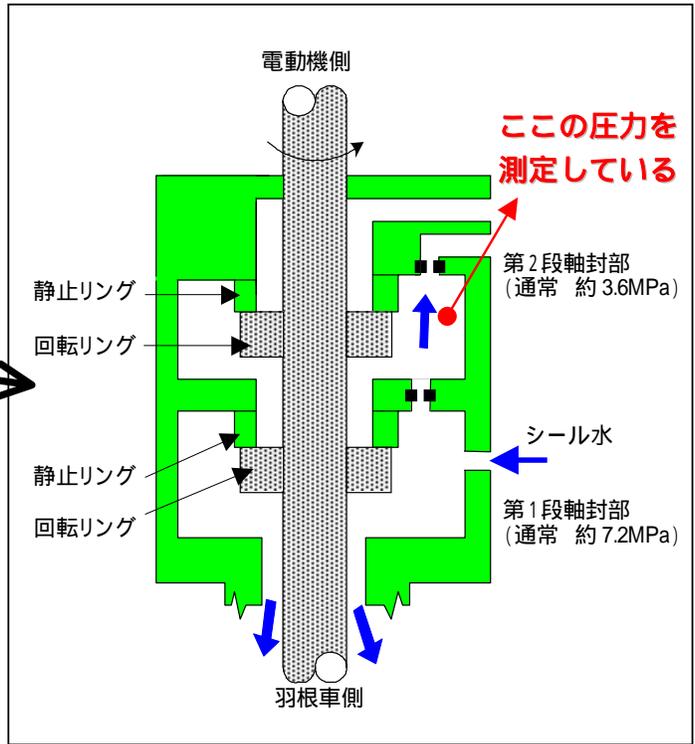
（不適合事象の公表基準：http://www.tepco.co.jp/kk-np/nuclear/pdf/ki_jyun.pdf）



系統概略図



原子炉再循環ポンプ概要図



軸封部拡大図

4号機原子炉再循環ポンプ軸封部概略図